

乳児発症、謎のアレルギー 飲食後数時間以上たって嘔吐・血便 食べ物原因？薬効かず、近年増加

社会 | 暮らし・学び・医療 | 家族・子育て | 医療・健康 | 朝刊総合面

毎日新聞 | 2022/9/30 東京朝刊 有料記事 2326文字



症状	嘔吐(おうと)、血便、下痢など(せきやじんましんは見られず)
患者	主に新生児や乳児
発症	飲食から数時間以上たってから
原因の食べ物	牛乳や大豆、卵など

飲食後数時間以上たってから嘔吐（おうと）や血便などの症状が出る不思議なアレルギー疾患が、2000年ごろから増えている。新生児と乳児に多い「消化管アレルギー（食物たんぱく誘発胃腸症）」で、そのメカニズムはよく分かっていない。

東京都内の男性会社員（28）の長女は今年1月に生まれてすぐ、病気のため国立成育医療研究センター（東京都）に入院した。病院では粉ミルクが与えられた。1週間ほどすると血便が見られるようになり、検査すると壊死（えし）性腸炎の疑いと診断された。

この記事は有料記事です。残り1963文字（全文2326文字）

全ての有料記事が読み放題
ご登録から1か月間は99円!!

有料会員登録して続きを読む